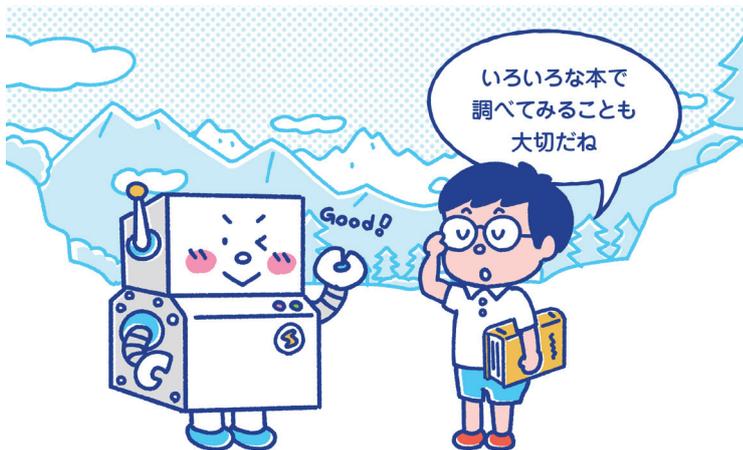


人の健康にはどんな影響があるの？(1)



放射線って何？

2011年の福島第一原子力発電所の事故以来、放射線が私たちの体に与える影響について、世の中の関心が高まっています。目に見えない放射線について、正しい知識を身につけるよう心がけましょう。



放射線が人間に当たると、体にはどんな影響があるの？



そもそも自然にあるんだから普段もあびているはずだね？



うん。だから、どれくらいあびたのか、その量が問題なんだ。放射線をあびて、どれくらいの影響があるかは、Sv(シーベルト)という単位で表すよ。



たくさんあびると悪い影響があるってことだね。



そう。でも、生き物は時間をかけて自分を治す力があるから実際は**あびた量と、その量をあびた時間が関係ある**んだ。



ちょっと難しくなってきた。



簡単に言うと、短い時間で一気にたくさんあびたときは、ヤケドと同じように細胞が死んでしまって、体に悪い影響が出るんだ。



体をゆっくり治す時間がないってことだね。



うん。長い時間で少しずつあびたときは、合計量が多くてもそういう危険はない。ただし、まれに細胞の遺伝子にキズが残ってしまって、そこからガンになることもあるんだ。

まとめ

放射線をたくさんあびてしまったときの健康被害



たくさんあびたときはその量と時間が問題になるんだね

短い時間にたくさんあびたとき

- 500mSv 血液中のリンパ球がへってしまう
- 1000mSv はき気など きもちわるくなる
- 4000mSv 以上 命を落とすことがある

がんで死亡する人の増え方

- 100mSv ガンで死亡する確率が0.5%ふえる
- 200mSv ガンで死亡する確率が1.0%ふえる